

全レベル 平成30年度 ラダー研修計画

特定医療法人共和会 共和病院 看護部

月	日	テーマ	講師	内容	到達目標
4	18	部長講演	松下	昨年の取り組みと、今年度の方針の説明。	今年度の看護部方針が理解できる。自己の目標設定のイメージと結びついていることができる。
5	25	ワークライフバランス	松崎あ	出産後の転職によるキャリアアップ～ワークライフバランスを考える～	それぞれのワークライフバランスについて考えることができる。
6	6	静脈注射のコツと技	三鬼	知識や技術を確認する。	血管を探し、安全に実践することができる。
6	5	吸引	大前、新畑	シミュレーターを使用した手順の演習	当院での吸引の手技の習得と理解ができる
10	31			シミュレーターを使用した手順の演習	当院での吸引の手技の習得と理解ができる
5	29	経管栄養	大前	シミュレーターを使用した手順の演習	当院での吸引の手技の習得と理解ができる
11	28	尿管挿入	感染委員	シミュレーターを使用した手順の確認と演習を行う。	プライバシーを配慮した実践ができる。清潔、不潔操作が理解でき、無菌操作の手技を確実に習得できる。
9	7	筋肉注射	三鬼	シミュレーターを用いた実技演習	安全な注射部位が理解でき、正確に実施することができる。
3	15			シミュレーターを用いた実技演習	安全な注射部位が理解でき、正確に実施することができる。
10	31	筋肉注射	三鬼	シミュレーターを用いた実技演習	安全な注射部位が理解でき、正確に実施することができる。
8	1	排泄介助	介護技術委員	<ul style="list-style-type: none"> 排泄の基本的な仕組みを知る コンチネンスケアを知る TENAの種類を知る TENAの使用方法(基礎)を知る TENAの使用方法(応用)を知る 	<ul style="list-style-type: none"> コンチネンスケアを理解し、業務に取り入ようと努めることができる。 TENAの使用方法を理解し、患者様にあった個別ケアが実施できる。
2	6			<ul style="list-style-type: none"> 重心や人の動きについて知る。 実際の業務で行われている介助の安全な方法を確認する。 当院採用のマットレスの説明(+α)。 	<ul style="list-style-type: none"> 移動介助の基礎を知って介助者、患者ともに負担の少ない介助ができる。 病棟で行われている移動介助の見直しができる。
7	12	移動介助	介護技術委員	<ul style="list-style-type: none"> 重心や人の動きについて知る。 実際の業務で行われている介助の安全な方法を確認する。 当院採用のマットレスの説明(+α)。 	<ul style="list-style-type: none"> 移動介助の基礎を知って介助者、患者ともに負担の少ない介助ができる。 病棟で行われている移動介助の見直しができる。
1	10			<ul style="list-style-type: none"> 口腔ケアの目的と観察点を知る。 当院における標準的な口腔ケアの方法を知る。 	エビデンス(根拠)に基づいた口腔ケアが実施できる。
6	13	口腔ケア	介護技術委員	<ul style="list-style-type: none"> 口腔ケアの目的と観察点を知る。 当院における標準的な口腔ケアの方法を知る。 	エビデンス(根拠)に基づいた口腔ケアが実施できる。
12	12	ACLs	古川、日下	ACLsのアルゴリズムを知る	心停止に対する適切な対応を習得する。
11	15	ACLs	古川、日下	ACLsのアルゴリズムを知る	心停止に対する適切な対応を習得する。
9	5	精神科系研修	山口、中嶋	身体拘束具の使用方法をDVDを見て学び演習をする	起こりうるリスクを考え、正しい手技を学べる
7	4	内科系研修	安藤	<ul style="list-style-type: none"> 診療報酬改訂に伴い、医療・介護に求められていること ターミナルケア(人生の最終段階における医療の意思決定プロセスに関するガイドライン) 該当病院医療療養で診ていく可能性のある病態について 	<ul style="list-style-type: none"> 求められる医療・介護を理解する 「人生の最終段階における医療の意思決定プロセスに関するガイドライン」を理解する 病態が理解でき、日頃のケアにいかせる
10	24	防災	安藤	BCPマニュアルの説明	防災訓練に参加でき、BCPマニュアルを理解できる

6	20	レポートの書き方	松崎あ	基本的なレポートの書き方について	基本的なレポートの書き方を理解することが出来る。
9	6	コンフリクトマネジメント 研修 (基礎編)	新美	コンフリクトマネジメントとは何か、対立や葛藤を解消するための方法論について。	コンフリクトマネジメントについて理解できる。

レベル1(初心者)・2(一人前)ラダー研修計

月	日	テーマ	講師	内容	到達目標
5 10	17 11	感染	小島	標準予防策、感染経路別予防策の知識を習得し、標準予防策に関連した演習を行う。	日常的に必要な感染予防策(適切な個人防護具の着脱手順を含む)が実践できる。
6 11	7 1	記録	プロセス委員	看護記録の必要性の理解と、当院の記録システムの習得ができる	・看護記録とは何か?・看護記録の変遷について・記録の目的 ・実践の証明をした記録・当院の記載基準について(フォーカスチャーティング)の習得
5 10	24 18	行動制限	中嶋	行動制限の基本的な概念、考え方、具体的な禁止事項を学ぶ。	行動制限における基本的な考え方を知ることが出来る。
6 12	12 18	精神保健福祉法基礎編	松崎穂	精神保健福祉法の基礎を学ぶ(入院形態、処遇、隔離、拘束)	精神保健福祉法の基礎について学び、看護に活かすことができる
6	15	プロセスレコード	加藤	・プロセスレコードとは ・実際にプロセスレコードを作成して、自己の振り返りをする	日々の看護の振り返りをする事で、自己を振り返ることができる。

レベル3(中堅)ラダー研修計

月	日	テーマ	講師	内容	到達目標
5 10	23 30	ケーススタディ	石川	①講義『ケーススタディとは』 心に残った看護体験を参加者同士で語り合い、感想を共有する ②ケースレポートを事前に提出 発表会で発表	①ケーススタディの意義や書き方を理解できる。 ②自己の看護を振り返り、レポート作成と発表会を通じて他者へ伝えることが出来る。
7	24	倫理を語ろう	宮川	①倫理原則についての講義。現場であった事例の共有	①自分の倫理観を言語化できる
12	25			②各病棟・所属で行った倫理カンファレンスの報告会	②部署内で倫理カンファレンスを開催できる
7 1	5 17	フィジカルアセスメント	濱田	フィジカルアセスメントに必要な技術、異常を判断するための知識を習得し、統合的なアセスメントの実践を行う。	得た情報からアセスメントを行い、その次に自分がすべき行動がわかる。
6 9	13 12	メンターシップ研修①	伊藤・山口	1回目 ・メンターシップとは ・メンターの役割 ・メンターの位置づけ ・メンティーとは・メンティーとの関わり方 (自分のタイプを知る) 2回目 ・コーチングスキルについて ・ロールプレイを用いてコーチングスキルを演習する ・実践報告、体験共有、まとめ	メンターの役割が言える 自己の傾向を知る 自ら演習することで、効果的なコーチングスキルを一つ以上覚える 実践を報告し、自分のスキル習得を確認できる 体験を共有し、自分のスキルに取り入れる
11 2	14 13	メンターシップ研修②	伊藤・山口	1回目 ・メンターシップとは ・メンターの役割 ・メンターの位置づけ ・メンティーとは・メンティーとの関わり方 (自分のタイプを知る) 2回目 ・コーチングスキルについて ・ロールプレイを用いてコーチングスキルを演習する ・実践報告、体験共有、まとめ	メンターの役割が言える 自己の傾向を知る 自ら演習することで、効果的なコーチングスキルを一つ以上覚える 実践を報告し、自分のスキル習得を確認できる 体験を共有し、自分のスキルに取り入れる
9	20	リーダー業務に入る方向け研修	中嶋	リーダー業務における実際の工夫を情報共有する。	何か一つ業務にいかせる工夫を見つけることが出来る。

レベル4(リーダー)・5(達人)ラダー研

特定医療法人共和会 共和病院 看護部

月	日	テーマ	講師	内容	到達目標
12	11	問題解決技法を学ぶ	松下	問題が発生した際の解決手法を皆で演習する	自病棟で問題が発生した際に、その解決に向けて取り組むことができる。

看護研究シリーズ研究

月	日	テーマ	講師	内容	到達目標
5	15	看護研究のおもしろさ	平成29年度 発表者	・平成29年度の研究発表者による体験談	参加者が研究に興味を湧く。
6	12	研究テーマの探し方 ～文献検索 基本編～	石川	・関心のあるテーマについてディスカッション ・医中誌WEBを用いた文献検索方法	文献を活用する目的と方法が理解できる。 研究テーマがより具体的になる。
7	3	研究テーマを絞ろう！ ～文献検索 実践編～	伊藤 石川	・研究全体の流れについて ・興味のあるテーマに関する文献を探す演習	研究計画書の書き方を理解することができる。
7	31	研究計画書をつくってみよう！	伊藤	・研究計画書の実例を見ながら試しに書く	研究計画書の書き方を理解することができる。
1	30	プレゼンテーションの演習	松下 桐山	・発表者同士で発表を体験する。	研究発表に向けて、プレゼンのスキルが上がる。